

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1 - 5 2	令和7年度第2回墨田区バリアフリー推進協議会		
開催日時	令和7年7月29日(火)午後2時から午後3時30分まで			
開催場所	墨田区役所13階 131会議室			
委員名簿	出席委員(24名)			
		氏名	所属	出欠
	1	山田 稔	茨城大学名誉教授	出席
	2	重松 景則	東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社企画総務部経営戦略ユニット マネージャー	出席
	3	小瀧 正和	東武鉄道株式会社 鉄道事業本部事業戦略部課長	出席
	4	浅岡 祐介	京成電鉄株式会社 計画管理部鉄道企画担当課長	出席
	5	倉本 広太郎	東京地下鉄株式会社 鉄道本部 鉄道統括部 移動円滑化設備整備促進担当課長	出席
	6	近藤 琢哉	東京都交通局 総務部技術調整担当課長	代理出席
	7	内山 琢矢	東京都交通局 自動車部事業改善担当課長	代理出席
	8	三浦 裕樹	京成バス株式会社 取締役営業部長	出席
	9	船越 浩司	京成バス東京株式会社 営業部業務課課長補佐	出席
	10	小池 毅	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会業務部長	出席
	11	菊池 信久	国土交通省東京国道事務所 関東地方整備局交通対策課建設専門官	出席
	12	田村 憲孝	東京都建設局 第五建設事務所補修課長	代理出席
	13	吉武 順子	本所警察署交通課長	出席
	14	渡邊 健次	向島警察署交通課長	代理出席
	15	伊藤 林	墨田区町会・自治会連合会副会長	出席
	16	星野 喜生	墨田区老人クラブ連合会会長	出席
	17	菊池 昌子	墨田区障害者団体連合会副会長	出席
	18	井上 佳洋	墨田区商店街連合会事務局長	出席
	19	平井 靖範	国土交通省関東運輸局 交通政策部共生社会推進課長	欠席
	20	荒井 大介	東京都都市整備局 都市基盤部交通政策担当課長	欠席
	21	浮田 康宏	福祉部長	代理出席
	22	高橋 義之	子ども・子育て支援部長	出席
	23	久井 隆司	都市計画部長	出席
	24	武井 勝人	都市計画部参事	出席
	25	天海 晴彦	都市整備部長	出席
26	宮本 知明	立体化・まちづくり推進担当部長	出席	
【事務局】 ・地域福祉課 大島、山本、柴田、登坂 ・株式会社創建(委託事業者)				
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)		傍聴者数	0人

議 題	<p>1 報告事項 まち歩き点検の実施結果について</p> <p>2 協議事項 ア (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想(骨子案)について イ 今後のスケジュールについて</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 まち歩き点検の実施結果について ・資料2 (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想(骨子案) ・資料3 今後のスケジュール
会議概要	
<p>1 報告事項 まち歩き点検の実施結果について 事務局より資料1を説明</p> <p>山田会長 今回のまち歩き点検は地域内における課題を抽出し、参加者が様々なバリアを共有することで今後の各事業の改善につなげていく趣旨であった。資料をご確認いただき、ご意見やご感想をいただきたい。</p> <p>伊藤委員[町会・自治会連合会] 参加者一覧に高齢者2名とあるが、墨田区老人クラブ連合会の方か。また、地域町会からの参加はあったか。</p> <p>事務局 高齢者2名は墨田区老人クラブ連合会の方である。地域の連合町会へ事前に連絡をしたが、当日の参加はなかった。</p> <p>星野委員[老人クラブ連合会] まち歩き点検の結果を見ると、1つの場所でも様々な視点で意見が出ていると感じた。歩車境界の段差について、バリアフリー化が進んでいるが、まだ段差が残っている箇所もあると感じる。歩車境界の段差の基準等があれば教えてほしい。</p> <p>天海委員[都市整備部長] 既存の箇所では2cm程度の段差を設けることで、視覚障害者が車道と歩道の境界を認識できるようにしていた。現在は、車道の前に視覚障害者誘導用ブロックを配置することで、歩車境界を認識できるようにしている。 今後区道で改修する箇所については、まち歩き点検で確認したようなゼロタッチ段差の整備を進めていく。</p> <p>田村委員(代理:榎戸氏)[東京都第五建設事務所] 東京都としても、墨田区内の都道の工事時には段差解消ブロックの採用に努めていく。</p> <p>山田会長 国土交通省の「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」では、2cm以外の段差の設定には地域の状況や道路利用者の意見を勘案し、合意形成をした上で進めることが示されており、都内では区単位で独自に段差解消の取組を実施しているところがある。</p>	

○菊池委員 [障害者団体連合会]

まち歩き点検では、押上駅スタートのAルートに参加した。京成橋は傾斜がきつく、車いすで通行するのは大変であると感じる。また、以前雪が降った時、橋を渡れずに困って SNS に投稿している知人がいた。勾配や滑りやすさの改善は可能か。

山田会長

バリアフリー基本構想の中で橋の勾配解消について明記することは難しいかもしれないが、滑りやすさの改善については1つの事業として検討することは考えられる。

田村委員（代理：榎戸氏） [東京都第五建設事務所]

ご意見のとおり、京成橋は急勾配となっている。橋の勾配を緩くする、高さを下げるとなると、北十間川を通行する船にも影響が出てしまう。

今後、老朽化で架け替える際には、その時の技術等を用いて設計を検討する。また、通常滑りにくい素材を採用しているが、降雪時などは滑ることもある。素材だけでは対応できない部分は、他の通行者による手助けなど、心のバリアフリーを推進していただきたい。

第五建設事務所では、降雪時に管理道路の巡回や雪かきを行っているが、人数に限りもあるため、順次対応している状況である。ご連絡をいただければ、優先的に雪かきをするなど対応を検討する。

菊池委員 [障害者団体連合会]

心のバリアフリーを広げていくことも重要と感じている。東京都、墨田区で連携して取り組んでいただきたい。

山田会長

区民の方が理解しやすい心のバリアフリーの取組が必要かと思われる。ハード面とソフト面のバリアフリーの連携の一例であると感じた。

井上委員 [商店街連合会]

まち歩き点検はとても良い取組と感じた。資料には様々な意見が掲載されており、気がつかない点が多くあった。障害者の視点とサポート例等をまとめた冊子があれば、各店舗で配布していきたい。店舗の改修時に意識している経営者も多いので、障害者の視点を取り入れて工夫していただけると考えられる。

山田会長

国土交通省で「公共交通事業者に向けた接遇ガイドライン」や「発達障害、知的障害、精神障害のある方とのコミュニケーションハンドブック」を作成しているので、参考にしていただきたい。

浮田委員（代理：若菜参事） [福祉部長]

障害者福祉課で心のバリアフリーの冊子を作成している。関係事業者等の取組を参考に、困っている方の事例等を示し、困りごとを認識していただきながら、手助けにつながるような取組を検討していきたい。

山田会長

前向きなご提案をいただいた。まち歩き点検でも改善や前向きなご提案まで意見交換できると良かったが、時間の都合上難しかった。まち歩き点検の様々なご意見に対して、改善まで考えていけると良い。

2 協議事項

ア 骨子案について

事務局より資料2を説明

○菊池委員〔障害者団体連合会〕

P49に「ユニバーサルタクシーの導入促進」とあるが、車いすで利用できるリフト付きの車両を指しているのか。

数年前、車いす対応車両の導入促進を都に陳情した。東京2020オリンピック・パラリンピックに合わせてユニバーサルデザインタクシーの導入が進んだが、運転手への研修が不足していると感じる。車いすを乗せる際の座席の跳ね上げ操作など、1回の研修だけでは身につけていないと聞いた。定期的な研修の実施などにも取り組んでほしい。

山田会長

車いす利用者がタクシーを利用する場合は予約が多く、街中を走行しているタクシーの運転手に対する研修は難しいのが実情かもしれないが、タクシー事業者に対しても事務局から調査等をしていただきたい。

事務局

ユニバーサルタクシーの用語の定義、タクシー事業者の状況は改めて調査・整理する。

山田会長

生活関連施設、生活関連経路について、P45～P47あたりに加筆されることになるのか。P53では「生活関連施設の候補」と記載があるが、構想策定時には決定となるのか。第4章、第5章どちらに記載するのがよいか。

事務局

生活関連施設、生活関連経路については、P45～47に記載を予定している。

山田会長

バリアフリー基本構想の計画期間である10年間で、全てのバリアフリー化や国の水準への到達は難しいものの、10年後の目標とする水準があるとわかりやすいのではないかと。

区としてバリアフリー基本構想の中で10年後の目標を明確にし、それに向けて特定事業者にも事業計画を考えていただくという流れが良い。

事務局

重点整備地区の区域内の現実的な10年後のゴールを設定し、関係者に協力を仰ぐ必要があると理解した。各地区の目標については、P51の(2)地区のバリアフリー化の方針などの記載を充実していく。

山田会長

P55、P61から各地区の特定事業の記載がある。バリアフリー基本構想ではこの程度の表現に留めているが、各特定事業者には、P65(1)の記載に基づき、特定事業計画を作成していただくことになる。

星野委員〔老人クラブ連合会〕

バリアフリースイールの整備について記載があるが、具体的にどのような設備を指すのか。公共施設には和式トイレが多数残っており、高齢者には使用するのが大変と感じている。

山田会長

鉄道駅のトイレは洋式化が進んでいると思うが、区の公共施設や公園トイレの状況はどうか。

天海委員 [都市整備部長]

公園トイレについては、築 30 年以上のものも多数あり、順次改築を進めている。改築時にはバリアフリーに配慮するとともに、和式トイレは順次洋式に更新していく。

事務局

公共施設については、バリアフリートイレの設置予定について把握をしている。ご意見を踏まえて和式トイレの洋式化についても情報収集する。

菊池委員 [障害者団体連合会]

P22 のバリアフリートイレの写真について、ユニバーサルシートが写っているものにしてほしい。

P56 に建築物特定事業の施設一覧があるが、ユニバーサルシートが設置されているのはひがしんアリーナしかない。以前から要望しているが、ユニバーサルシートの設置箇所を増やしてほしい。なぜ墨田区は導入が遅れているのか。

山田会長

バリアフリートイレは色々な広さがあり、P22 の写真はある程度広さがあるがユニバーサルシートは設置されていない。最低限の面積ではこの設備、もう少し高水準であればこの設備を推奨するなど記載することも考えられる。導入の遅れというご指摘については、引き続き検討していただきたい。

菊池委員 [国土交通省東京国道事務所]

P21 の具体的な取組事例で「歩行者、自転車等の利用者に向けた交通ルールの周知啓発」、実施主体：道路管理者とあるが、具体的にどのような内容を想定しているのか。

事務局

道路管理者、交通管理者の協力により、自転車利用のマナー啓発などを想定している。ハード面のバリアフリーではないが、自転車の適正利用を促すことで歩道を通行する歩行者の安全確保につながると考えている。

山田会長

P22 に自転車ナビマークの写真があるが、こうした取り組みを交通管理者、道路管理者で協力していただけるとよい。記載方法は事務局で検討していただきたい。

天海委員 [都市整備部長]

区では、墨田区自転車活用推進計画に基づき、自転車道やナビマークの整備を進めている。

山田会長

必要な関連計画の内容は、バリアフリー基本構想にも示していただけるとよい。

田村委員（代理：榎戸氏） [東京都第五建設事務所]

P22 に「歩道上のベンチの設置」とあるが、東京都では道路法に基づく道路施設としてベンチの設置は考えていない。どのような意図か。

事務局

都道での方針は承知した。区道では、ベンチの設置を考えているため、記載は主体を明確にして修正する。

山田会長

あくまでも取組事例ではあるが、誤解のないように記載方法を検討していただきたい。

また、P66(3)のとおり、バリアフリー事業を進める上で当事者参画の実施について記載されていることから、各特定事業者にはご協力をいただきたい。

イ 今後のスケジュール

事務局より資料3を説明

3 閉会

○事務局

本日までご発言できなかった内容等については、8月18日(月)までに事務局へメール等で連絡をいただきたい。また、令和7年度第3回協議会は11月頃を予定している。

山田会長

以上で、第2回墨田区バリアフリー推進協議会を閉会とする。

会議の概要は、以上である。

所 管 課

墨田区福祉部地域福祉課地域福祉担当 (電話03-5608-1163)